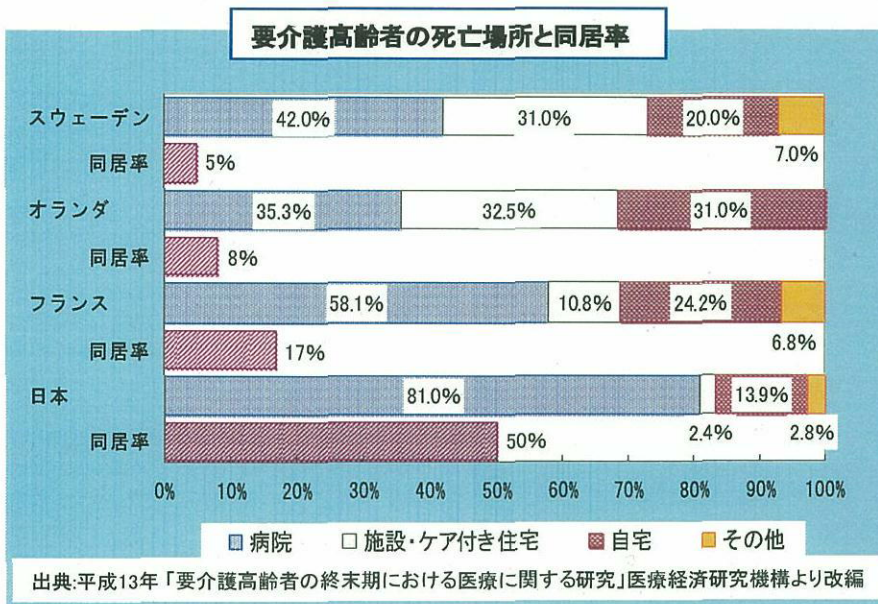
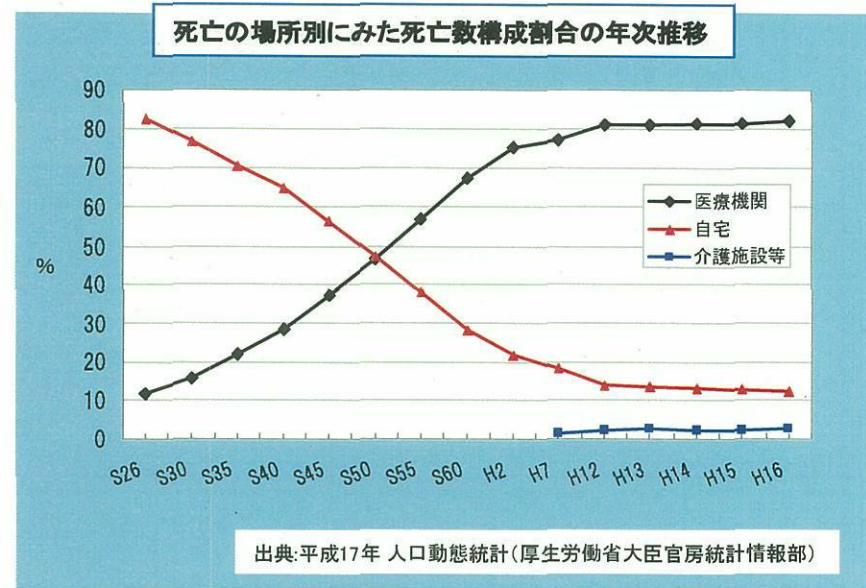
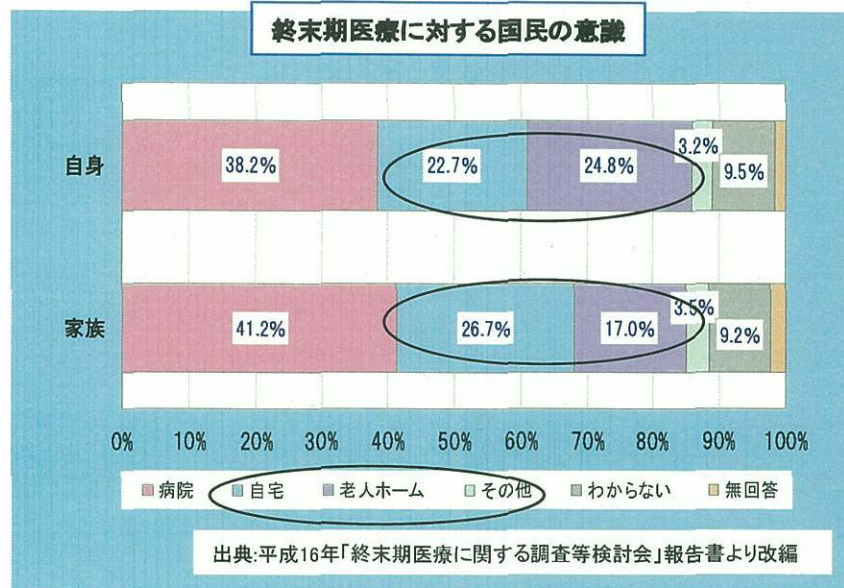


【資料2】



○国民のおよそ5割が終末期の療養場所として「病院以外」を希望。
 ○しかし、昭和52～53年を境に、「医療機関」における死亡が「自宅」における死亡を上回り増加の一途。
 ○「介護施設等」における死亡は依然として少数派。

○わが国では核家族化による独居高齢者・老老世帯の増加により、介護力のない世帯が増加。
 ○他の先進諸国では同居率が低くても在宅死の割合は高い(オランダでは同居率8% 在宅死31.0%)。

○訪問看護利用終了者(入院・入所を含む)で死亡した者(利用者全体の38.7%)のうち自宅での死亡は48%
 平成17年度訪問看護・家庭訪問基礎調査報告書 日本訪問看護振興財団